

保育需要量の算出について

1. 0歳

(1) 国の手引きに基づく算出

① 現在家庭類型による算出

■0歳家庭のみ
＜家庭類型別児童数の算出＞

【平成27年】

タイプ	a:推計児童数(人)	b:現在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	1,581	0.025	40
タイプB フルタイム×フルタイム		0.504	796
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+48時間~120時間の一部)		0.061	96
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+48時間~120時間の一部)		0.000	0
計		0.590	計 932人

② 潜在家庭類型による算出

■0歳家庭のみ
＜家庭類型別児童数の算出＞

タイプ	a:推計児童数(人)	b:潜在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	1,581	0.025	40
タイプB フルタイム×フルタイム		0.546	864
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+48時間~120時間の一部)		0.079	124
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+48時間~120時間の一部)		0.000	0
計		0.650	計 1,028人

＜需要量の算出＞

タイプ	c:家庭類型別児童数	d:利用意向率(割合)	e:需要量(人)
タイプA ひとり親	40	0.714	28
タイプB フルタイム×フルタイム	796	0.953	759
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+48時間~120時間の一部)	96	0.909	87
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+48時間~120時間の一部)	0	0.000	0
計			計 874人

保育ニーズ率 = $874 / 1,581 \times 100 \approx 55.3\%$

＜需要量の算出＞

タイプ	c:家庭類型別児童数	d:利用意向率(割合)	e:需要量(人)
タイプA ひとり親	40	0.714	28
タイプB フルタイム×フルタイム	864	0.953	823
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+48時間~120時間の一部)	124	0.909	113
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+48時間~120時間の一部)	0	0.000	0
計			計 964人

保育ニーズ率 = $964 / 1,581 \times 100 \approx 61.0\%$

ニーズ調査における現在の保育施設等の**利用希望**を聞く設問:問12で保育施設等※を選択した者を回答者全数で割った率(回答率)
 ※ 保育施設等 : 認可保育所、認定こども園、認証保育所、家庭福祉員(保育ママ)、事業所内保育施設、その他の認可外保育施設、問12-3のベビーシッター

【利用意向率の算出方法】

タイプ	問12で保育施設等を選択した人数	問12回答者全数	回答率:利用意向率
タイプA ひとり親	5	7	0.714
タイプB フルタイム×フルタイム	142	149	0.953
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+48時間~120時間の一部)	20	22	0.909
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+48時間~120時間の一部)	0	1	0.000

潜在家族類型による増加は90人
 $(90/874 \times 100 \approx 10.3\text{ポイント上昇})$

(2) 補正後

① 現在家庭類型による算出

■0歳家庭のみ
＜家庭類型別児童数の算出＞

タイプ	a:推計児童数(人)	b:現在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	1,581	0.025	40
タイプB フルタイム×フルタイム		0.504	796
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+48時間~120時間の一部)		0.061	96
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+48時間~120時間の一部)		0.000	0
計		0.590	計 932人

② 潜在家庭類型による算出

■0歳家庭のみ
＜家庭類型別児童数の算出＞

タイプ	a:推計児童数(人)	b:潜在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	1,581	0.025	40
タイプB フルタイム×フルタイム		0.546	864
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+48時間~120時間の一部)		0.079	124
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+48時間~120時間の一部)		0.000	0
計		0.650	計 1,028人

＜需要量の算出＞

タイプ	c:家庭類型別児童数	d:利用意向率(割合)	e:需要量(人)
タイプA ひとり親	40	0.429	17
タイプB フルタイム×フルタイム	796	0.417	332
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+48時間~120時間の一部)	96	0.381	37
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+48時間~120時間の一部)	0	0.000	0
計			計 386人

保育ニーズ率 = $386 / 1,581 \times 100 \approx 24.4\%$

＜需要量の算出＞

タイプ	c:家庭類型別児童数	d:利用意向率(割合)	e:需要量(人)
タイプA ひとり親	40	0.429	17
タイプB フルタイム×フルタイム	864	0.417	361
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+48時間~120時間の一部)	124	0.381	47
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+48時間~120時間の一部)	0	0.000	0
計			計 425人

保育ニーズ率 = $425 / 1,581 \times 100 \approx 26.9\%$

ニーズ調査における現在の保育施設等の**利用状況**を聞く設問:
 問11-1で保育施設等※を選択した者を回答者全数で割った率(回答率)(育児休業取得者を除く。)
 ※ 保育施設等 : 認可保育所、認定こども園、認証保育所、家庭福祉員(保育ママ)、事業所内保育施設、その他の認可外保育施設、問11-3のベビーシッター

潜在家族類型による増加は39人
 $(39/386 \times 100 \approx 10.1\text{ポイント上昇})$

2. 1・2歳

(1) 国の手引きに基づく算出

① 現在家庭類型による算出

■1・2歳家庭のみ

＜家庭類型別児童数の算出＞		【平成27年】	
	a:推計児童数(人)	b:現在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	3,003	0.033	100
タイプB フルタイム×フルタイム		0.465	1,396
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+48時間～120時間の一部)		0.085	255
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+48時間～120時間の一部)		0.002	6
計		0.585	計 1,757人

＜需要量の算出＞		c:家庭類型別児童数		d:利用意向率(割合)		e:需要量(人)	
タイプA ひとり親	100	0.778	78				
タイプB フルタイム×フルタイム	1,396	0.932	1,301				
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+48時間～120時間の一部)	255	0.847	216				
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+48時間～120時間の一部)	6	0.000	0				
計			計 1,595人				

$$\text{保育ニーズ率} = 1,595 / 3,003 \times 100 \approx 53.1\%$$

ニーズ調査における現在の保育施設等の**利用希望**を聞く設問:問12で保育施設等※を選択した者を回答者全数で割った率(回答率)
 ※ 保育施設等 : 認可保育所、認定こども園、認証保育所、家庭福祉員(保育ママ)、事業所内保育施設、その他の認可外保育施設、問12-3のベビーシッター

② 潜在家庭類型による算出

■1・2歳家庭のみ

＜家庭類型別児童数の算出＞		【平成27年】	
	a:推計児童数(人)	b:潜在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	3,003	0.033	100
タイプB フルタイム×フルタイム		0.496	1,490
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+48時間～120時間の一部)		0.111	332
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+48時間～120時間の一部)		0.002	6
計		0.642	計 1,928人

＜需要量の算出＞		c:家庭類型別児童数		d:利用意向率(割合)		e:需要量(人)	
タイプA ひとり親	100	0.778	78				
タイプB フルタイム×フルタイム	1,490	0.932	1,389				
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+48時間～120時間の一部)	332	0.847	281				
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+48時間～120時間の一部)	6	0.000	0				
計			計 1,748人				

$$\text{保育ニーズ率} = 1,748 / 3,003 \times 100 \approx 58.2\%$$

潜在家族類型による増加は153人
 (153/1,595 × 100 ≈ 9.6ポイント上昇)

5.7ポイント上昇(潜在的な就労ニーズをくみ取っている。)

(2) 補正後

① 現在家庭類型による算出

■1・2歳家庭のみ

＜家庭類型別児童数の算出＞		【平成27年】	
	a:推計児童数(人)	b:現在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	3,003	0.033	100
タイプB フルタイム×フルタイム		0.465	1,396
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+48時間～120時間の一部)		0.085	255
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+48時間～120時間の一部)		0.002	6
計		0.585	計 1,757人

＜需要量の算出＞		c:家庭類型別児童数		d:利用意向率(割合)		e:需要量(人)	
タイプA ひとり親	100	0.722	72				
タイプB フルタイム×フルタイム	1,396	0.861	1,203				
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+48時間～120時間の一部)	255	0.533	136				
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+48時間～120時間の一部)	6	1.000	6				
計			計 1,417人				

$$\text{保育ニーズ率} = 1,417 / 3,003 \times 100 \approx 47.2\%$$

ニーズ調査における現在の保育施設等の**利用状況**を聞く設問:
 問11-1で保育施設等※を選択した者を回答者全数で割った率(回答率)(育児休業取得者を除く。)
 ※ 保育施設等 : 認可保育所、認定こども園、認証保育所、家庭福祉員(保育ママ)、事業所内保育施設、その他の認可外保育施設、問11-3のベビーシッター

② 潜在家庭類型による算出

■1・2歳家庭のみ

＜家庭類型別児童数の算出＞		【平成27年】	
	a:推計児童数(人)	b:潜在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	3,003	0.033	100
タイプB フルタイム×フルタイム		0.496	1,490
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+48時間～120時間の一部)		0.111	332
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+48時間～120時間の一部)		0.002	6
計		0.642	計 1,928人

＜需要量の算出＞		c:家庭類型別児童数		d:利用意向率(割合)		e:需要量(人)	
タイプA ひとり親	100	0.722	72				
タイプB フルタイム×フルタイム	1,490	0.861	1,284				
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+48時間～120時間の一部)	332	0.533	177				
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+48時間～120時間の一部)	6	1.000	6				
計			計 1,539人				

$$\text{保育ニーズ率} = 1,539 / 3,003 \times 100 \approx 51.2\%$$

潜在家族類型による増加は122人
 (122/1,417 × 100 ≈ 8.6ポイント上昇)

5.7ポイント上昇(潜在的な就労ニーズをくみ取っている。)

量の見込の算出（国の「手引き」による考え方）

(1) 家庭類型の種類

アンケート調査結果を活用し、まず、対象となる配偶者の有無、父親・母親の就労状況から「家庭類型」を求める。家庭類型の種類は、タイプAからタイプDの8種類となっている。

なお、保育の必要性の下限時間は、現行制度の入所要件（3日・4時間以上）から48時間を下限値として取り扱った。

図 家庭類型の種類

母親		父親			
タイプA ひとり親		1.フルタイム就労 2.育児・介護休業中	3.パートタイム就労 4.育児・介護休業中	5.現在は就労していない 6.就労したことがない	
1.フルタイム就労 2.育児・介護休業中	120時間以上	48時間(P)以上 120時間未満	48時間(P)以上 120時間未満	48時間未満(P)	
3.パートタイム就労 4.育児・介護休業中	120時間以上 48時間(P)以上 120時間未満	48時間(P)以上 120時間未満	48時間未満(P)		
5.現在は就労していない 6.就労したことがない					

中央区の3日・4時間以上の入所要件から、月48時間を下限値として扱う

表 家庭類型の種類

タイプ	父母の有無と就労状況
タイプA	ひとり親家庭（配偶者無し）
タイプB	フルタイム×フルタイム
タイプC	フルタイム×パートタイム (就労時間：月120時間以上+48時間～120時間の一部 ¹⁾)
タイプC'	フルタイム×パートタイム（短） (就労時間：月48時間未満+48時間～120時間の一部)
タイプD	専業主婦（夫）
タイプE	パートタイム×パートタイム (就労時間：双方が月120時間以上+48時間～120時間の一部)
タイプE'	パートタイム×パートタイム（短） (就労時間：いずれかが月48時間未満+48時間～120時間の一部)
タイプF	無業×無業

¹⁾ 就労時間：48時間～120時間の一部の区分け
3～5歳：平日定期的に利用している教育・保育の事業で「幼稚園」を利用しており、今後の希望でも「認可保育所」認定子ども園を選択していない方
タイプC・Eに分類し、それ以外をタイプC・Eとした。
0～2歳：定期的に教育・保育の事業を利用している方については、「保育の事業」を利用している方をタイプC・Eとし、現在利用していない方については、今後の希望で「保育の事業」を希望した方をタイプC・Eとし、それ以外をタイプC・Eとした。

(2) 現在の家庭類型から潜在的な家庭類型への推移

手順1

現在の家庭類型

父親・母親の就労状況を聞く
項目の回答により、家庭を右図のとおり類型化

母親		父親			
タイプA ひとり親		1.フルタイム就労 2.育児・介護休業中	3.パートタイム就労 4.育児・介護休業中	5.現在は就労していない 6.就労したことがない	
1.フルタイム就労 2.育児・介護休業中	120時間以上	48時間(P)以上 120時間未満	48時間(P)以上 120時間未満	48時間未満(P)	
3.パートタイム就労 4.育児・介護休業中	120時間以上 48時間(P)以上 120時間未満	48時間(P)以上 120時間未満	48時間未満(P)		
5.現在は就労していない 6.就労したことがない					

手順2

潜在的な家庭類型

今後の（母親の）就労希望の回答により、各類型の家庭数を修正

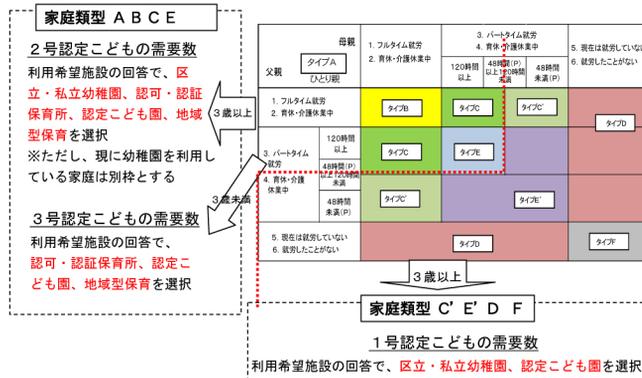
例：右図では、①パートタイムからフルタイムへの希望や、②無業からフルタイムへの希望のイメージを例示

ステップ1、2の作業により、潜在的な家庭類型を設定

※この図は、手引きの考え方を例示したものであり、実際にはさらに複雑である。

(3) 家庭類型と事業との関係

(2)で抽出した潜在的な家庭類型について、利用希望施設の回答により認定区分の算出を行った。



(4) 量の見込の算出

手順3

手順2で修正した家庭類型のタイプA～Fごとに人数による割合を算出

手順4

手順3の割合に区の年齢別の人口推計を掛けて「家庭類型別児童数」を算出

手順5

ニーズ調査の結果から「利用意向率」(利用したい事業の回答割合)を算出

手順6

手順4の「家庭類型別児童数」×手順5の「利用意向率」により、「量の見込」を算出